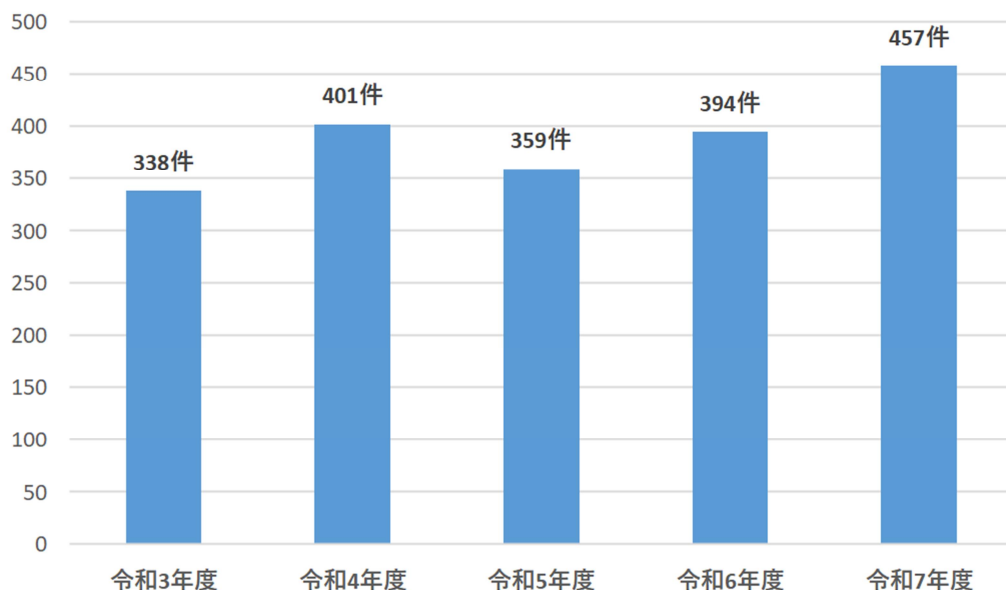


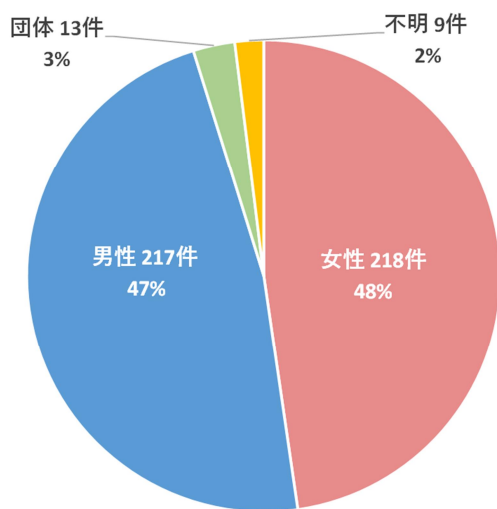
令和7年度の相談概要

◆年度別相談総件数の推移

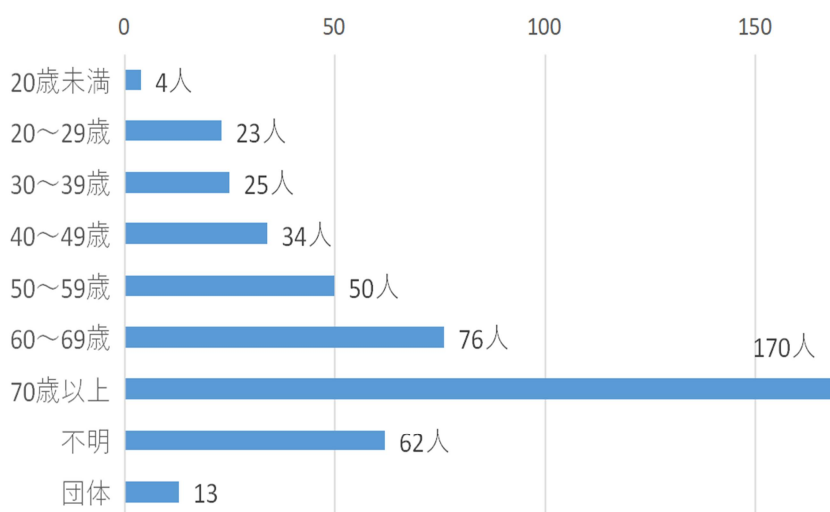


◆2025年度(令和7年度)の相談状況

《男女別相談状況》



《年齢別相談状況》



《傾向と特徴》

令和7年度の相談件数は、457件（令和6年度 394件）、前年比約116%で63件の増であった。年齢別では60歳代76人（16.6%）70歳以上170人（37.2%）で全体の半数以上を占めている。依然として、高齢者の消費者トラブルが多いことがうかがえる。

相談内容としては化粧品等の定期購入トラブルに関する相談、SNSを通じた投資や副業といった儲け話に関する相談、SNSの詐欺広告に関する相談が目立った。また「工事・建築・設備」に関する相談（点検商法やレスキュー商法など）が前年度と比較し3倍に急増していた。

《相談項目の上位》

① 商品一般に関する相談

架空請求、不審なメール、クレジットカードの不正利用など

② 工事・建築・設備に関する相談

家の修理や修繕に関するトラブルなど

③ 教養娯楽品に関する相談

スマートフォンやパソコン周辺機器の通信販売に関するトラブルなど

④ 保健衛生品に関する相談

化粧品の定期購入に関するトラブルなど

⑤ 食料品に関する相談

健康食品やサプリメントの定期購入に関するトラブルなど